

一人の年

コロナ禍の今だからこそ、支えあう社会を



市議会議員 副議長 佐藤 ひろゆき

新型コロナウイルス禍は、深刻な経済格差があらわになりました。弱い立場の人ほど打撃は大きく、コロナ禍の今、身近な地域での新しいふれ合いやつながりをどう創っていくかが問われています。コロナ禍で分かったのは、人間のつながりの大切さでした。いままでの生活に少人数でつながる・時間・場所・情報をこまめに提供するなどの工夫を取り入れることで、つながりの輪が広がるかもしれません。その中から、助け合い活動への発展、災害時の対策、引きこもりがちなる人の社会参加など、より充実した支え合いにつながるチャンスになるのかもしれない。大変なこの状況だからこそ、改めて人と人とが気にかけて合う心や支えあう社会を実感出来るようになることは素晴らしいことです。

発行日		令和三年九月一日
発行所		佐藤ひろゆき
住所	〒997-0025	鶴岡市田中一丁目七・六
電話	0235-24-3402	
FAX	0235-25-1411	
新政クラブ		

本会議場がバリアフリー化

令和元年11月に副議長に就任しましたので、議長席と自席への段差が解消され、議長を補助し精一杯議会活動をしています。



議長席への登壇スロープ



自席へのスロープ



佐藤聡さんとしっかり連携しています



新型コロナウイルス感染症対策

1 ワクチン接種対策

高齢者の新型コロナワクチン接種5月10日以降の予約は、集団接種の一般枠を6,240人分拡大し、5/10(月)8:30に予約を再開しました。ワクチン確保の目途は立っており、接種を希望する方は必ず接種できます。

2 経済・生活への影響等に対する支援情報 (抜粋)

(1) 事業者等の支援

- ① 鶴岡市小規模事業者経営継続支援金
売上が減少した小規模事業者の経営継続を応援するための市独自の支援金(1事業者あたり一律20万円)
- ② 鶴岡泊まって応援キャンペーン事業補助金
GoToトラベル事業を利用して市内宿泊施設を利用(宿泊代金5,000円以上)に、宿泊代金最大3,000円を割引、宿泊特典(市特産品)を提供

(2) 市民への生活再建等の支援

- ① 緊急小口資金の貸付および特例貸付
収入の減少により緊急かつ一時的に生計維持が困難となった場合費用の貸付(上限額10万円以内)
- ② 緊急小口資金貸付の市独自追加貸付
緊急小口資金貸付を受ける方で、追加資金貸付を希望する方に費用の貸付(上限額10万円以内)
- ③ 子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯分)
ひとり親世帯に対し、生活支援のため給付金を支給(児童1人あたり5万円)

旧朝陽第二小学校跡地を活用し 第二中学校区に屋内体育館建設を 併せて、第二学区コミセンの合築を

令和2年度も市に対して、市町内会連合会の継続要望事項として、旧朝陽第二小学校跡地に屋内体育館の建設を要望しています。令和2年12月25日付スポーツ課の回答(以下回答書原文のまま)は、「この体育館は第三中学校区の拠点体育館としての機能が期待され、整備候補地として想定している。体育館単独での整備計画ではなく、災害時の避難場所としても利用可能になるよう、防災的側面も十分な検討を重ね、有益な施設となることが重要と考えている。今後、関係者との相談や関係各課と連携を図りながら施設整備計画を進める。」

同じく、市町内会連合会の新規要望として、第二学区コミュニティ防災センターの旧朝陽第二小学校跡地に合築して建設を要望しています。同令和2年12月25日付コミュニティ推進課の回

答(以下回答書原文のまま)は、

第二学区コミセンは令和5年度の改修工事を計画しておりますが、体育施設との合築とすると、建設費用の軽減

や駐車場の共用等のメリットがある。一方この場所が洪水ハザードマップ上での最大浸水深が3m前後となっている等防災面での課題がある。財源の問題もあるが、大規模改修の計画とともに、移転改築も含め関係課と検討する。」となっております。このことについては、最大限の努力を傾注する決意です。



待たれる羽黒橋加茂線(第2工区) 苗津新橋架替工事

苗津新橋は都市計画道路 3・4・3号羽黒橋加茂線にかかり、山形県道路整備計画によれば、令和2年度に着手の予定でした。事業概要は延長230m、事業費13億円が予定されています。羽



黒街道は朝陽第二小学校の通学路にも指定されているが、車が多い上、歩道幅員が1.7mと狭く、危険であり降雪・除雪時などは特に注意を要し、歩行者の安全確保が課題となっております。

新市立荘内看護専門学校の基本構想とまる

令和3年3月に基本構想がまとまりました。看護学科（3年課程、全日制）、修業年限3年建設用地は現在の税務署の近接地に延べ床面積2,500㎡、3階建。1学年30人、職員約13名、特徴は個々に合わせた手厚い学習支援地域・施設での充実した実習等であり、令和3年度基本設計、令和4年度実施設計が予定されています。私は安心の医療体制構築を推進しています。

今後の障害者福祉の成果目標と活動指標が決まりました

令和3年3月に「障害福祉計画」（第6期）「障害児福祉計画」（第2期）が策定されました。計画の柱として、福祉施設の入所者の地域生活への移行、地域生活支援拠点の整備、福祉施設から一般就労への移行、相談支援体制の充実・強化等があります。障害のある当事者として全力で努力します。

七日町通り道路改良工事が着工

平成17年度から周辺住民の方々と取り組んできました七日町通り改良工事が、ようやく令和2年度から側溝改良と融雪用井戸掘削工事が着工しました。令和3年度からは、道路地盤改良工事が始まります。



柳橋架替工事が決まる



昭和29年に架設されたから66年経過したため老朽化が著しく、周辺住民の方々と取組み悲願であった本町2丁目地内の市道七日町柳橋線の「柳橋」が橋長寿命化計画の置換として、架替事業に着手することが決まり、令和2年度に概要設計が終わり令和3年度は県との調整が進められます。

要配慮者対策、福祉避難所充実を

令和3年2月に「地域防災計画」が修正され、避難所における新型コロナウイルス感染症を含む感染症対策の平時からの検討・実施するとともに、市民等の役割として、各家庭等における感染症対策として、マスクや消毒液等の備蓄、知人宅などへ避難する「分散避難」等についてあらかじめ確認することになりました。要配慮者及び家族の役割としては、車椅子、背負救助袋等を準備するなど、自らできることについては、事前に準備することも

に、円滑な避難行動が行えるよう、あらかじめ洪水ハザードマップ等により避難所や避難経路を確認しておいて下さい。また、要配慮者の災害時の安全確保のために、隣近所等との交流を深め、地域で協力を得られるよう努めることになりました。



障害者団体と鶴岡市との防災懇談会

国道112号東バイパスの進捗状況



朝陽町区間（大宝寺町交差点）羽黒街道交差点1.2km工事は令和3年度に完了予定（事業費合計7億5千6百万円）。未着手の区間では、新規に「東原町地区事故対策設計（15百万円）」が令和3年度に配分されました。

新潟医療福祉大学大学院博士後期課程に在学中

平成28年4月に入学してから、最終年の6年目となりました。これまでの研究論文実績
和文 「障害者差別と合理的配慮の提供の実態からみた障害者福祉の課題」
 — 「障害者差別解消法」施行下における市民意識調査をとおして—（学会発表済）
英文 「An Evaluation of the Fulfillment of Welfare Measures for Persons with Disabilities in Japan from the Perspective of Disability Welfare Service Providers」
 （障害福祉サービス事業所から見たわが国の障害者福祉施策の充実度評価）（学会査読中）



活動報告



市合同短歌発表会（稲京短歌会会員）



朝陽第二小体育館ステージ脇リフト試用



全国脊髄損傷者連合会総会 山形県大会



第二次人口減少・地域活性化特別委員会報告書手交



山形県市議会議長会 国会議員との懇談会



県への大雨被害要望活動



江戸川区・鶴岡市友好都市盟約40周年記念式典



老人ホームで昔語りボランティア（田川民話の会会員）



鶴岡市総合防災訓練（NPO法人災害ボランティアネットワーク会員）